

2009年4月10日

パソナグループ 2009年5月期 第3四半期決算概要

- 企業の雇用調整に伴い再就職支援サービスの需要は堅調に推移
- 業務効率向上とコスト削減ニーズに対応したアウトソーシング事業、インソーシング(請負)事業も増収
- 金融、製造業等の新規人材需要抑制や残業抑制等により、派遣・紹介事業は減収
- 派遣事業では派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げや、派遣先の休業等による有給休暇取得増により、売上総利益率が低下
- 投資損失引当金、オフィス移転関連費用を特別損失として計上、また繰延税金資産の一部を取り崩し法人税等調整額に計上

【1】業績概況 (2008年6月1日~2009年2月28日)

(百万円)

第3四半期連結累計期間	2008年5月期	2009年5月期	増減	増減率
売上高	177,766	168,617	△9,149	△5.1%
売上原価 (売上比)	140,749 (79.2%)	134,865 (80.0%)	△5,883 (0.8%pt)	△4.2%
売上総利益 (売上比)	37,017 (20.8%)	33,752 (20.0%)	△3,265 (△0.8%pt)	△8.8%
販売費及び一般管理費 (売上比)	31,929 (17.9%)	31,585 (18.7%)	△344 (0.8%pt)	△1.1%
営業利益 (売上比)	5,087 (2.9%)	2,166 (1.3%)	△2,921 (△1.6%pt)	△57.4%
経常利益 (売上比)	5,140 (2.9%)	2,331 (1.4%)	△2,808 (△1.5%pt)	△54.6%
税金等調整前四半期純利益 (売上比)	6,051 (3.4%)	1,613 (1.0%)	△4,437 (△2.4%pt)	△73.3%
四半期純損益 (売上比)	2,349 (1.3%)	△607 (△0.4%)	△2,957 (△1.7%pt)	—
1株当たり当期純損益	5,639円85銭	△1,597円48銭	△7,237円33銭	—

【2】事業セグメント別業績概況 (セグメント間内部取引消去前)

(百万円)

第3四半期連結累計期間	2008年5月期	2009年5月期	増減	増減率	構成比	増減
人材派遣・請負、人材紹介	162,810	152,683	△10,127	△6.2%	90.6%	△1.0%pt
人材派遣・請負	156,849	147,932	△8,916	△5.7%	87.8%	△0.4%pt
人材紹介	5,961	4,750	△1,211	△20.3%	2.8%	△0.6%pt
再就職支援	4,223	4,200	△22	△0.5%	2.5%	+0.1%pt
アウトソーシング	10,093	11,117	1,024	10.1%	6.6%	+0.9%pt
その他	1,544	2,080	535	34.7%	1.2%	+0.4%pt
消去又は全社	△905	△1,465	△559	—	△0.9%	△0.4%pt
売上高合計	177,766	168,617	△9,149	△5.1%	100.0%	—
人材派遣・請負、人材紹介	3,615	2,509	△1,106	△30.6%	115.8%	+44.7%pt
再就職支援	966	768	△198	△20.5%	35.4%	+16.4%pt
アウトソーシング	1,406	1,587	180	12.9%	73.3%	+45.7%pt
その他	△15	77	93	—	3.6%	+3.9%pt
消去又は全社	△885	△2,776	△1,891	—	△128.1%	△110.7%pt
営業利益合計	5,087	2,166	△2,921	△57.4%	100.0%	—

※前連結会計年度下期より持株会社の費用が「消去又は全社」の中的全社費用として計上されています。

人材派遣・請負、人材紹介事業（パソナ、パソナテック、パソナキャリア 他）

<人材派遣・請負> ※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高… 4 ページ

- 足元の新規受注は下げ止まりつつあるが、金融、自動車産業、その他輸出産業等の業績悪化に伴い、これらの分野の新規受注と長期稼働者数が減少
- 特に第3 四半期間の減収幅が大きかったが、ITエンジニアリング分野は増収、テクニカル分野（専門事務）は小幅減など、専門性の高い分野は概ね堅調
- 自由化職種である営業・販売職は、派遣期間に制限が設けられていることから、派遣可能期間満了による契約終了影響もあり、減収幅が拡大
- 経済環境の激変に応じて顧客別、業種別の与信管理を見直すとともに、企業との契約見直しを実施
- 重点分野のインソーシング事業（請負事業）は組織改編・人員拡充など営業を強化し、7,295 百万円（前期比 6.5%増）と着実に成長

<人材紹介> 国内 4,027 百万円（前期比 0.6%減）、海外 723 百万円（前期比 62.2%減）

- 企業の人材採用意欲の落ち込みにより、求人数が減少
- 新規登録者数は順調に増加したものの、採用基準の厳格化を受け成約率が低下
- 海外事業は顕著な売上落ち込み傾向が見られた連結子会社を売却した影響大きく減収

<人材派遣・請負、人材紹介セグメント営業利益>

- 減収影響に加え、派遣スタッフの健康保険料率の大幅引き上げや派遣先企業の休業等による有給休暇取得の増加などにより売上総利益が減少し、募集コスト等販管費を抑制するも及ばず営業利益が減少

再就職支援事業（パソナキャリア 他）

- 景気悪化を受けて企業の雇用調整が進んでおり需要は堅調に推移
- 人材紹介部門からの配置転換によりコンサルタントを増員、求人開拓強化と高い決定率の維持に注力
- 顧客企業の早期退職・希望退職等の雇用調整が第4 四半期にずれ込み、一部サービスの開始時期が後ズレしたことに加え、前年同期は大口需要が集中していたため減収減益

アウトソーシング事業（ベネフィット・ワン）

- 主要顧客である大企業・官公庁等の福利厚生アウトソーシング推進により、市場は持続的な成長軌道に
- 法人会員への提案営業を推進し、ワークライフ・バランスに配慮した福利厚生サービスメニューを拡大
- 「ヘルスケアサービス」（特定健康診査・特定保健指導の義務化による新サービス）など新規サービスを拡充
- ガイドブック制作費等原価抑制が奏功し、営業利益は前期比大幅増

【3】財政・投資の状況

● 財政の状況

	2008 年 5 月期		2009 年 5 月期 第 3 四半期	(百万円)
	第 3 四半期	期末		
流動資産	38,181	41,213	34,591	前期末比 △6,621
固定資産	16,378	17,300	18,291	991
資産合計	54,559	58,513	52,883	① △5,630
流動負債	23,903	26,731	26,579	△152
固定負債	1,778	2,313	2,284	△28
負債合計	25,682	29,045	28,864	② △181
純資産	28,877	29,468	24,018	③ △5,449
自己資本比率	43.7%	41.6%	35.3%	△6.3%pt
1 株当たり純資産	57,155 円 71 銭	58,363 円 62 銭	52,039 円 36 銭	△6,324 円 26 銭

①主に現金及び預金の減少3,044百万円、受取手形及び売掛金の減少3,544百万円等による

②主な増減は短期借入金が増加5,996百万円、未払費用の減少1,592百万円、法人税等の納付による未払法人税等の減少1,694百万円、買掛金の減少1,010百万円等

③主に配当金の支払757百万円、自己株式の取得4,154百万円等による

●キャッシュ・フローの状況 第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は10,585百万円
(前期末比3,027百万円減)

(百万円)

	2008年5月期				2009年5月期			前期比 増減
	Q1	Q2 累計	Q3 累計	Q4 累計	Q1	Q2 累計	Q3 累計	
営業活動による CF	△1,883	△865	203	5,974	△1,322	609	477	274
投資活動による CF	△1,299	△2,211	△1,938	△2,968	△836	△1,856	△4,225	① △2,287
財務活動による CF	1,424	3,007	2,517	△980	641	△2,184	797	② △1,719
フリー CF	△3,182	△3,076	△1,735	3,006	△2,159	△1,247	△3,748	△2,013

①主に有形固定資産の取得による支出1,122百万円、無形固定資産の取得による支出1,589百万円、オフィス移転等による敷金及び保証金の差入による支出1,688百万円等による

②資金増加は主に短期借入金金の増加6,000百万円、資金減少は主に自己株式の取得による支出4,490百万円、配当金の支払1,043百万円等による

【4】2009年5月期（2008年6月1日～2009年5月31日）通期連結業績予想 修正

人材派遣・請負事業においては、第4四半期から来期にかけて委託案件を中心とした複数の特需を見込んでおり、3月からその第一弾として定額給付金支給に伴う関連事務業務を各地で受託しています。

また、業務効率化のための企業のアウトソーシング化の流れも加速しており、インソーシング（請負）事業の需要も着実に積みあがってきています。

今後、企業の急激な雇用調整を受け、景気に先行して人材派遣の新規需要は回復すると見ており、実際に足元では新規受注の下げ止まり感が見られます。しかし今後の人材需要の先行きについては、現在の特異な経済環境により慎重に見ざるを得ないこともあり、売上高を修正いたします。

足元では、売上総利益率の高い人材紹介事業の需要がさらに落ち込んでいます。人材派遣事業では派遣先企業の休業等による派遣スタッフの有給休暇取得が想定以上に増加しており、その傾向は当面続くと見られることなどから売上総利益率の更なる低下が予想されます。

人件費、広告宣伝費、スタッフ募集費はもとより、販管費の全体的な更なる抑制に努めますが、営業利益、経常利益についても前回予想を修正せざるを得ず、当期純利益についても、上述の減益影響に加え、当第3四半期における特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しに伴い、前回予想を下回る見込みです。

	今回(4月10日) 修正予想	前期比		前回予想比		前回(1月9日) 修正予想
		増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	218,540	△18,405	△7.8%	△6,190	△2.8%	224,730
営業利益	2,590	△3,854	△59.8%	△1,200	△31.7%	3,790
経常利益	3,000	△3,637	△54.8%	△1,220	△28.9%	4,220
当期純利益	190	△2,772	△93.6%	△850	△81.7%	1,040

●事業セグメント別修正予想（連結・通期）

(百万円)

	売上高	前期比増減	増減率	営業利益	前期比増減	増減率
人材派遣・請負、人材紹介	197,240	△19,246	△8.9%	3,100	△1,956	△38.7%
人材派遣・請負	191,390	△17,420	△8.3%			
人材紹介	5,850	△1,826	△23.8%			
再就職支援	5,800	△58	△1.0%	1,020	△357	△26.0%
アウトソーシング	14,990	1,257	9.2%	2,130	246	13.1%
その他	2,930	814	38.5%	0	26	—
消去又は全社	△2,420	△1,171	—	△3,660	△1,813	—
合計	218,540	△18,405	△7.8%	2,590	△3,854	△59.8%

【5】2009年5月期（2008年6月1日～2009年5月31日）配当予想修正

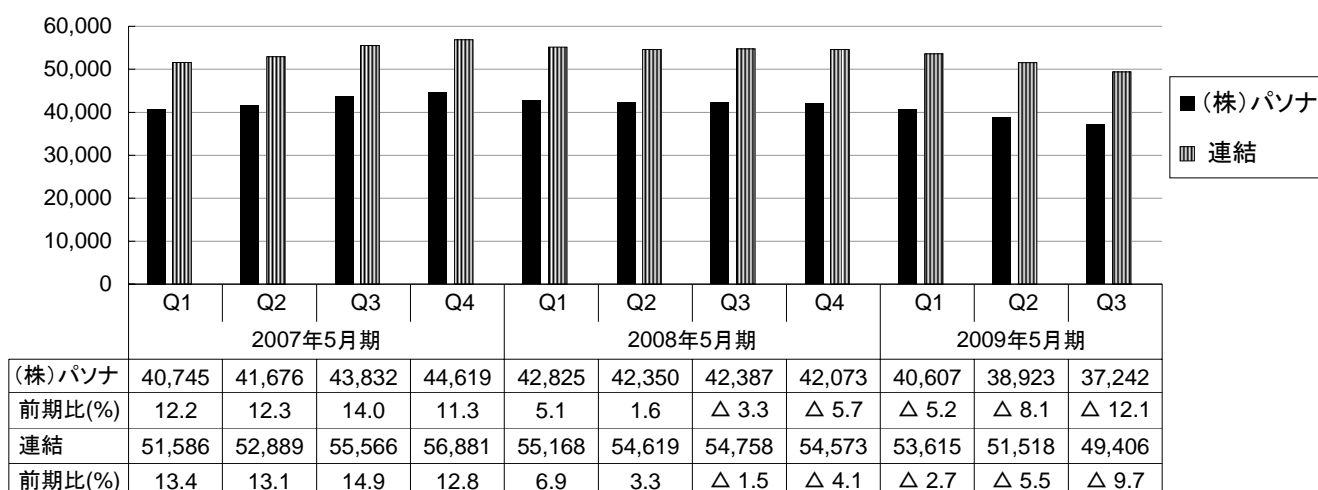
	2008年5月期	2009年5月期(予想)		
配当金	2,500円	第2四半期末 600円	期末 未定	年間 未定
配当金総額	1,042百万円	215百万円	—	—

※期末配当予想は現時点では未定とし、通期実績および来年度の業績見通しを勘案した上で改めて公表いたします。

【6】参考データ

● 派遣長期稼働者数（1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純月平均） 単位：人

※2008年5月期Q1より特別プロジェクト案件の影響が小さくなったためその数値を含む



● 派遣職種別売上高（連結・内部取引消去後）

（百万円）

	2008年5月期 第3四半期	2009年5月期 第3四半期				
		売上高	構成比 （前期比増減）	増減	前期比	
クラリカル（一般事務）	84,915	78,666	53.3%	△0.9%pt	△6,249	△7.4%
テクニカル（専門事務）	25,202	24,587	16.7%	+0.6%pt	△615	△2.4%
ITエンジニアリング	16,639	17,019	11.5%	+0.9%pt	379	+2.3%
営業・販売職	14,092	11,828	8.0%	△1.0%pt	△2,263	△16.1%
その他の派遣・請負	15,640	15,411	10.4%	+0.4%pt	△229	△1.5%
派遣付随業務	158	136	0.1%	0.0%pt	△22	△14.1%
合計	156,649	147,649	100.0%	—	△9,000	△5.7%

● 四半期毎業績推移

（百万円）

	2008年5月期				2009年5月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	60,489	59,026	58,250	59,178	59,136	56,950	52,531	—
前期比	+7.2%	+4.0%	+1.3%	△2.2%	△2.2%	△3.5%	△9.8%	—
売上原価	48,373	46,795	45,579	46,825	47,373	45,514	41,976	—
前期比	+7.2%	+3.8%	△0.0%	△3.1%	△2.1%	△2.7%	△7.9%	—
売上総利益	12,115	12,230	12,671	12,352	11,762	11,435	10,554	—
前期比	+7.1%	+4.9%	+6.5%	+1.4%	△2.9%	△6.5%	△16.7%	—
販売費及び一般管理費	10,585	10,688	10,655	10,995	10,902	10,696	9,986	—
前期比	+17.2%	+11.1%	+11.4%	+6.5%	+3.0%	+0.1%	△6.3%	—
営業利益	1,529	1,541	2,015	1,356	860	738	567	—
前期比	△32.8%	△24.3%	△13.5%	△27.1%	△43.8%	△52.1%	△71.8%	—
経常利益	1,584	1,560	1,994	1,497	909	894	527	—
前期比	△33.4%	△22.5%	△15.8%	△26.9%	△42.6%	△42.7%	△73.5%	—
税金等調整前四半期純利益	1,558	1,478	3,015	948	990	610	11	—
前期比	△33.7%	△23.1%	+28.9%	△55.0%	△36.4%	△58.7%	△99.6%	—
四半期純損益	795	268	1,286	612	313	△110	△810	—
前期比	△29.4%	△71.7%	+22.5%	△43.0%	△60.6%	—	—	—

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。